

馬主だより

第131号

令和5年12月22日
発行(一社)ばんえい競馬
馬主協会事務局

★ 今回の発送に関して、いつもと違う点

例年、当協会の大きな封筒に同封しておりました「馬主賞典支払明細書」と「令和5年の支払調書」(主催者発行)ですが、今回は主催者から直接馬主への発送になりましたので、ご注意ください。

★ 確定申告に必要な用紙について

- ・競馬賞金等の収入証明申請書(地方競馬)
- ・競走馬の登録及び出走回数等証明申請書
- ・競走馬等の収支明細書
- ・競走馬の取得賞金等の明細書 等

上記の用紙が必要な方は、当協会の事務局にご連絡ください。お送りいたします。

全国各地で大雪が続いたり、季節が逆戻りしたような気温になったりと、不安定な天候が珍しくなりました。どうか、皆さま自愛ください。来年もどうぞよろしく願いいたします。

開催107日間

令和5年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

帯広市ばんえい振興課資料提供
令和5年12月18日終了時

区 分	発 売 金 額							
	令和5年度			令和4年度		対 比		
	日数	発 売 額	予 算 額	日数	発 売 額	予 算	前 年	
帯広競馬場	107	849,934,100	675,741,900	107	820,624,000	125.78%	103.57%	
直 営 場 外	旭川北彩都	107	431,732,000	312,989,500	107	380,194,500	137.94%	113.56%
	ミトスポット北見	107	264,035,800	248,042,700	107	301,294,000	106.45%	87.63%
	ハロズ岩見沢	107	110,274,300	94,365,100	107	114,594,800	116.86%	96.23%
	ハロズ釧路	107	52,581,900	46,996,100	107	57,080,800	111.89%	92.12%
	ハロズ名寄	107	43,236,600	48,784,300	107	59,217,400	88.63%	73.01%
	アプスポット網走	107	55,068,000	43,390,000	107	52,698,500	126.91%	104.50%
	琴似駅前	107	88,799,000	77,160,500	107	93,735,100	115.08%	94.73%
	イルムふかがわ	107	53,552,400	41,975,200	107	50,976,900	127.58%	105.05%
電 話 投 票	オッズパーク	107	10,937,339,100	9,821,225,900	107	11,239,597,200	111.36%	97.31%
	OP(七重勝)	107	57,269,000	251,620,400	107	101,114,900	76.16%	56.64%
	OP(五重勝)	107	134,356,100		107	189,760,300		70.80%
	競馬モール	107	8,378,641,200	8,011,120,100	107	9,100,168,600	104.59%	92.07%
	SPAT4	107	14,258,862,600	12,711,852,200	107	14,445,204,500	112.17%	98.71%
広域場間場外	—	1,177,543,000	1,033,824,500	—	1,183,781,600	113.90%	99.47%	
場外・電投計	—	36,043,291,000	32,743,346,500	—	37,369,419,100	110.08%	96.45%	
合 計	107	36,893,225,100	33,419,088,400	107	38,190,043,100	110.40%	96.60%	
1日平均		344,796,496	312,327,929		356,916,291	110.40%	96.60%	

令和5年度 該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで107日間)

令和4年度 該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで107日間)

会議等の様子

◆令和5年4月～令和5年9月期監事監査

日時：令和5年10月17日（火）午後1時30分 場所：当協会事務局会議室

【監査資料】

- 資料1 令和5年度事業実施報告・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況
- 資料2 令和5年4月～9月期決算報告書（財務諸表等）
 - ・貸借対照表・正味財産増減計算書・予算対比正味財産増減計算書・収支計算書・予算推移付収支予算管理月報・財産目録・貸借対照表内訳表・正味財産増減計算書内訳書・収支計算書内訳表・特定資産の増減及びその残高・固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
- 資料3 残高証明書（謄写）
（北海道銀行帯広支店、帯広信用金庫本店、北洋銀行帯広中央支店）
- 資料4 参考資料
 - ・各事業に関連する費用額の配賦計算書（給料手当、給料手当以外の経費）
 - ・令和5年度機構図

本年、4月から9月期までの上半期六ヵ月間における監事監査は、令和5年10月17日午後1時30分から当協会事務局会議室において、業務執行者を代表して、小森代表理事会長並びに広瀬副会長が立会のもと、堂場、石井両監事により監査が執り行われました。

当該監査につきましては、年度内における中間の監査で、理事の職務の執行状況、又当協会の業務並びに財務及び会計について、関係資料や証拠書類等の調査、閲覧や必要に応じて内容について業務執行者及び事務局から説明いたしました。

その中で、今年度、上半期におきましては、生産振興事業の精液検査費が、計画していたよりも検査受験頭数が大幅に増加したことが原因で予算を超過することになり、他の科目の予算を流用する措置を取りましたが、それ以外については、上半期としては概ね予定どおりの予算執行状況である事が、事務局から報告されました。

◆令和5年度第6回執行役員会

日時：令和5年10月20日（金）午前11時 場所：当協会事務局会議室

【議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 運営資金と組織運営強化基金について
- (3) 令和5年度第3回理事会議案
- (4) その他

① 帯広市陳情の日程調整について

役員会では、(1) 競走馬弔慰金の査定について、今回、対象馬2頭を審議。全て原案のとおり承認決定いたしました。(2) 運営資金と組織運営強化基金については、現在、当協会では、運営資金(運転資金)と称して、複数の金融機関において、一定程度まとまった金額を確実にかつ有利な方法として、定期預金で運用しておりますが、今後、運転資金として最低限必要な資金以外については、目的や管理、運営等を定めた基金に繰り入れる等の適正な保管方法を含め、具体的な措置については、理事会において検討することを確認いたしました。

また、当日、午後に開催する第3回理事会に先立ち、役員会において事前に意見調整を行いました。

【馬弔慰金支給対象馬】 2頭 1,300,000円

内 訳

(単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ニュータイキン	6	小倉 たまき	業務中	650,000
ジェイコマンダー	8	小森 唯永	業務中	650,000

◆令和5年度第3回理事会

日時: 令和5年10月20日(金) 午後1時30分 場所: 当協会事務局会議室

【議事】

報告第1号 競走馬弔慰金給付額の決定について

報告第2号 正会員の入会申込について

報告第3号 令和5年度日本馬事協会種雄馬売却希望馬の精液検査結果

報告第4号 令和5年度日本馬事協会種雌馬の選定・購買計画について

報告第5号 帯広市ばんえい振興室との意見交換実施について

報告第6号 出走制限頭数について(第13回終了時)

報告第7号 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況

協議案第1号 次年度ばんえい競馬に関する陳情、意見、提言等について

そ の 他

① インボイス導入に関する報償費の関係について

② 十勝毎日新聞記事に関するお詫び訂正記事

③ 当協会退会者(オーナーズクラブ会員)及び再入会者名簿

④ アテナ統合獣医ケア診療所待機枠場設置

報告事項につきましては、第1号から第7号まで事務局より順次報告されました。続いて協議案第1号次年度ばんえい競馬に関する陳情、意見、提言等については、昨年度のブロック懇談会や通常総会、理事会等における様々な意見を踏まえ、令和6年度のばんえい競馬開催に係る陳情書の骨子案に基づき協議をいたしました。また、この陳情書とは別に、本年12月補正予算に伴う賞金の増額を要望する件について検討。他地方競馬の賞典奨励費の支給状況などを参照とし、売得金に対する馬主の報償費の支給割合が全国平均を下回る状況から、普通競走と特別競走の賞金の底上げを図っていただくよう、文書を以って要望する事を決定いたしました。

【正会員入会申込者】

会員番号	氏名	馬主登録番号	所属ブロック
R5-22	細谷 靖幸	北22-39	道北
R5-23	干場 正吉	北61-12	道央
R5-24	丹山東吾	北23-21	道央
R5-25	宮下由里絵	北23-32	道央

◆令和6年度帯広市ばんえい競馬に関する陳情

日時：令和5年11月5日（日）午後1時30分 場所：開催執務委員長室

◎ 令和5年度帯広市ばんえい競馬特別会計補正予算編成に伴う賞金の増額について

【要望事項】

1. 本年12月の補正予算編成にあたりましては、賞金を増額し普通競走及び特別競走全体の底上げを図っていただきたい。

◎ 令和6年度帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情項目

【陳情、要望事項】

1. 報償費支給基準について
2. 2歳馬のいきゅう円滑化
3. 能力検査回数の遵守
4. 新たな馬籠の製作について
5. 薄暮を準ナイターに変更
6. 写真判定映像
7. 当協会の診療業務委託事業に対する補助金要請
8. きゅう務員の待遇改善と社会保険加入
9. きゅう舎構内への立ち入り制限

【意見、提言事項】

1. 適格な経営判断
2. 観光資源としての競馬場

※ 要望、陳情項目における内容の詳細につきましては、別途、回答書と併せてお知らせいたします。

はじめに、当協会が要望している 12 月の補正予算に関し賞金増額の件については、滝沢室長から、「現状、発売額が前年度より 3 %程度落ちている中において、今回の補正で賞金を上げるとするのはなかなか難しい。それ以前に競走馬の頭数が多いことから、当初の計画よりレース数が増えており、今、報償費の補正はその財源を確保する状況にある。」という説明がありました。

一方、小森代表理事会長からは、馬主に対する報償費の割合については、他の地方競馬と照らし合わせても、未だばんえい競馬は全国平均を下回る低い状況にあり、特に賞金については、更なる底上げが不可欠であり、他場並みに考慮するよう求めた。

これに対して、これまでは発売額が少ない中で、賞金を抑えておりましたが、発売増収に伴いこれを素早く反映させるべく、年明けから賞金の見直しをする措置を講じてまいりましたが、今後については、賞金の増額は、年度を基準として考えて行きたいという旨の見解が示されました。

続いて、令和 6 年度の帯広市ばんえい競馬開催に関する陳情事項について、小森会長から逐次内容の説明を致しました。

その中でも特に、2 歳新馬のいきゅうに関しては、多くの馬主から要望があることから、各調教師からしっかりと聞き取りを行うなど、無駄なく空馬房を有効に活用するため、出来る限りスムーズないきゅう体制を整えていただくよう強く要請したところです。

また、競馬場における競走馬の診療体制の効率性と公平性の視点から、当協会が昨年度より実施している診療業務に関する事業の実績、また、各診療所の診療内容や実態を良く調査、理解していただき、その上で、当協会の事業に対して、来年度から補助金の交付と当該事業の必要性について、改めて要請しました。

なお、きゅう務員の待遇改善については、今後更にきゅう務員不足が深刻化することが予測される中で、社会保険加入に向けて他地方競馬等の事例を良く調査するなど、その仕組みづくりについて、検討していただくようお願いをいたしました。

情報・ご案内

◆令和5年度の出走制限について

帯広市では、在きゅう頭数の適正化のため、今年度から次の条件下において出走制限を設けております。

本年度、B4及びC2クラスにおいて、第13回開催までに出走回数が1回以上あり、かつ同開催終了時点における、本年度取得賞金額が当該クラスの1着賞金額に満たない馬が、出走制限の該当となります。

注：令和5年度帯広市ばんえい競馬番組編成要領第5の5をご参照ください。

今回、出走制限に該当となった馬は、B4クラス（5歳から9歳までの本年度取得賞金27万円未満）11頭。また、C2クラス（本年度取得賞金24万円未満）11頭の計22頭となりました。以上の馬については、来年度の能力検査対象馬として、今年度の第14回開催から第25回開催までの間には出走できないこととなります。また、抹消済みの馬を再登録する際にも同様の基準が適用されますので、併せてご注意ください。

なお、特例としてB4クラスで10歳以上の馬につきましては、本年度の取得賞金額が27万円未満であっても、出走制限の対象外となりますので、今年度内は出走が可能となっています。

◆令和6年度から牝馬減量規定の見直し（対象年齢の変更）

帯広市は、新たな競走馬のいきゅうが円滑に行われていない昨今の状況を踏まえ、本年度より出走制限の導入等による在きゅう頭数の適正化を図っております。その一環として、令和6年度の開催から牝馬減量規定の見直し（当初：6歳以上の牝馬は減量が撤廃され、牡馬同様の重量条件となる）を行う事が既に決まっております、この件に関しまして、会員の皆様には本年3月にご案内を差し上げたところでございます。

しかしながら、当初予定されていた来年度の牝馬減量規定の対象馬が、現状において50頭近くになると見込まれ、これによって番組編成への影響が懸念されることから、今般、諸般の事情を鑑み、対象年齢を6歳以上から8歳以上へ見直すこととなりました。

なお、詳細につきましては、別紙「令和6年度の牝馬減量規定見直しについて」をご参照のうえ、対象年齢にお間違えのないようご注意ください。

◆競走馬定年制の導入について

先にご案内のとおり、帯広市では競走馬の在きゅう頭数適正化の一環として、令和6年度より、競走馬の定年制を導入することとなっております。この措置については、競走馬の世代交代を円滑に進めることで、より強い馬の確保を推進させ、ばんえい競馬の活性化を図ることが目的であります。

現在10歳以上である馬は、令和6年度（令和6年4月1日）以降の開催には出走できないこととなりますので、ご注意ください。

なお、今後の在きゅう馬の状況に応じて、変更等を行う場合がありますので、お含みおきください。

注：令和5年度帯広市ばんえい競馬番組編成要領第14をご参照ください。

令和6年度から競走馬の定年は10歳となります。

◆精液検査事業（定款第4条第2号）について

（公社）日本馬事協会が、重種馬における牽引力の強い馬の改良と増殖推進を目的として、ばんえい競走において優秀な競走経歴馬を種馬として購買するため、当協会はその業務への協力を行います。

この度、第二次予備選抜の結果が発表されましたので、ご案内いたします。

購買予定候補馬

馬名	品種	毛色	血統	
			父	母
オレノタイショウ	日本鞍系種	鹿	カネサブラック	ヨシノキクヒメ

なお、（公社）日本馬事協会から今年度の購買馬と配置先等、決定通知が届きましたら、改めて馬主だよりでご案内いたします。

◆馬登録申請日程（地方競馬全国協会より）

今年度の馬登録申請受付の日程案内が地方競馬全国協会からありましたので、お知らせします。

【申請日程】 令和5年1月5日（金）から随時、ただし駐在の勤務日のみ受付

【申請場所】 帯広競馬場 発走員室 地全協駐在所

詳細は、地全協からの別紙通知「馬登録申請について」をご覧ください。

※3月の集中検査を受ける為には、2月23日（祝金）までの申請書提出が必要

令和6年度第1回能検を受検したい場合

2月23日までに、馬登録申請

↓

3月の集中検査を受検


↓

4月 第1回能検受検

書類等に不備がなければ、上記の流れになります。

◆令和5年度のばんえい馬定期登録検査の日程

毎年3月に実施される「ばんえい馬定期登録検査」の日程ですが、地方競馬全国協会から通知がありましたら、次回の馬主だよりで皆様にお知らせいたします。

過去の「馬主だより」をご覧になりたい方は、当協会ホームページに

掲載しておりますので、どうぞご利用ください。

封筒のQRコードからホームページに簡単にいけます。

◆今井千尋騎手 通算 100 勝達成について

ばんえい十勝の今井千尋騎手が、2023 年 11 月 6 日（月）第 8 競走ホクセイサクラランボ号にて、通算 100 勝を達成しました。

2022 年 12 月 10 日（土）のデビューから 332 日目での達成となり、金田利貴騎手の持つ帯広市単独開催後最短記録である 395 日を更新しました。

本年度の戦績は 501 戦 56 勝 勝率 11.2%（11 月 6 日第 8R 現在）と、今後も注目の若手騎手のひとりです。

記

<今井千尋（いまい ちひろ）騎手プロフィール> ※2023 年 11 月 6 日第 8R 現在

生年月日：2000 年 10 月 30 日（23 歳）

所 属：今井茂雄厩舎

初 騎 乗：2022 年 12 月 10 日 カタミミ号

初 勝 利：2022 年 12 月 11 日 ホクセイサクラコ号

出 身：新十津川町

通算成績：773 戦 100 勝



※2023 年 11 月 6 日（月） 第 8 レース

【今井千尋騎手のコメント】

実感はまだあまりないですがすごく嬉しいです。関係者の方々や応援してくれるファンの皆様に支えられて最短記録で 100 勝を挙げることが出来たのだと思います。技術面はまだ足りないながらも、いろいろな馬への騎乗に挑戦させていただいているので嬉しいです。騎乗する馬のレースを見たり、先輩騎手の方々にアドバイスをいただいたりと今後も勉強しながら頑張っていきたいと思っています。

以上

◆岩本利春調教師 1,500 勝達成について

ばんえい十勝の岩本利春調教師は、2023年12月18日(月)の第10競走で自身が管理するミススマイル号が優勝し、通算1,500勝を達成しました。

岩本利春調教師の1,500勝達成は歴代13人目(現役10人目)です。調教師開業19年目での記録達成となりました。

なお、ばんえい十勝では通算1,500勝達成の表彰式実施を予定しております。日時が決まり次第、ばんえい十勝公式ホームページにてお知らせいたします。

記

岩本利春(いわもととしはる)調教師プロフィール※2023年12月18日(月)第10R終了時点	
生年月日	1958年1月17日(65歳)
出身地	北海道石狩郡当別町
調教師デビュー	2005年4月16日(管理馬:サカエオーカン号)
調教師初勝利	2005年4月17日(管理馬:フナノヨッチ号)
調教師通算成績	11,921戦 1,500勝(うち重賞8勝)
主な重賞優勝	2010年 ばんえい十勝オッズパーク杯 管理馬:ナカゼンスピード号 2011年 イレネー記念 管理馬:ニュータカラコマ号 2014年 帯広記念 管理馬:ホリセンショウ号 2015年 ナナカマド賞 管理馬:フウジンライデン号 2015年 クインカップ 管理馬:フェアリードール号 2016年 イレネー記念 管理馬:フウジンライデン号 2016年 ナナカマド賞 管理馬:ゴールドンフウジン号 2021年 ヒロインズカップ 管理馬:フェアリースズ号



<岩本利春調教師のコメント>

今日は展開など色々なことに恵まれた結果、この馬で達成することが出来ました。11月以降少し足踏みをしていましたが、達成することが出来て安心しています。この結果に満足せず成績を伸ばしていきたいです。これを機に自分を含め厩舎全体が次の目標に向かって進んでいくことが出来ると思います。これからも寒さに負けず、毎日精進で常に前向きに一生懸命頑張ります。

写真: 2023年12月18日(月)第10競走を優勝したミススマイル号

以上

レース情報

重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
10月15日	第46回 ナナカマド賞	ホクセイポルシェ	竹内 宏人	大友 栄人
10月29日	第44回 北見記念	アオノブラック	青山 修	金田 勇
11月 5日	第48回 ばんえい菊花賞	マルホンリョウユウ	本寺 政則	金田 勇
11月12日	第48回 クインカップ	アローリキヒメ	南 信良	小林 長吉
11月26日	第14回 ドリームエイジカップ	サクラヒメ	城川 悟子	今井 茂雅
12月 3日	第48回 ばんえいオークス	ルイズ	奥泉 愛子	槻館 重人

優勝おめでとうございます！

◆第46回ナナカマド賞（2歳オープン）

10月15日（日）は、重賞・ナナカマド賞（2歳オープン）が行われ、単勝1番人気のホクセイポルシェが優勝。果敢に先行して押し切り、世代最初の重賞ウイナーとなりました。

馬場水分1.4%、560～580kgと初めて曳く重量で行われた本レース。ホクセイポルシェが第1障害を勢いよく先頭で越えると、後続を引き離して先行。ライジンサン、スマイルカナ、グランドスターダム、ミチシオらが横一線となって進む展開となります。ホクセイポルシェはその後も果敢に歩を進め、47秒という速いペースで第2障害下に到達します。

後続も続々と到達するなか、じっくりと息を入れたホクセイポルシェが仕掛けると難なく先頭でクリア。グランドスターダム、ライジンサン、ユーフォリア、と続きます。障害を降りた勢いそのままホクセイポルシェが単独先頭。2番手の争いにスマイルカナ、ミチシオも加わって5頭が横一線となりますが、その差はなかなか縮まらず、ホクセイポルシェが最後まで止まらず逃げ切って勝利。混戦の2着争いは、スマイルカナが残り10メートルで脚色が鈍り、これを交わしたグランドスターダムもゴール線上で一杯に。障害9番手からアヤノダイヤモンド、7番手からショータイムが追い込み、2着、3着に入りました。

ホクセイポルシェはトップハンデながら持ち前のスピードを遺憾なく発揮する快勝で、見事2歳シーズン一冠目を制しました。父フジダイビクトリー、母父カネサブブラックは、ともにばんえい記念を制している血統。既に1026キロと雄大な馬格を持っていることから先々も楽しみにになります。

大友栄人調教師「勝てたらいいなと思っていたのでホッとしています。今年2月の入厩前に、馬主のほうで調教をやってくれてきたようで良い馬だと思いました。

性格は良く体型的にもいいと思いました。レースではおっとりしている感じがありますが、厩舎ではやんちゃなところがあります。

騎手がテストの時からずっと手にかけているので馬のことを良く分かっていたと思います。障害を降りてから他の馬に詰められましたが、勝つことができ良かったです。ゴール前は辛抱強く歩いてくれました。現時点では一番力があるかと思います。今後も大事に育ててくれればいいなと思います。

重賞50勝達成については馬にも結構恵まれていたから、ここまで来られたと思います。これかもコツコツと1つでも勝てたらいいと思います。これからも頑張ってホクセイポルシェを育てていきますので応援よろしく願いいたします。」

西 謙一騎手「青雲賞のあと、このレース一本に絞っていたので結果を出すことができ良かったです。レースの展開は作戦通りでしたが、決して無理に行った訳ではなく馬のスピードに任せて先手を取っていきこうと思っていました。障害は良かったのですが、下りてから蛇行したりと若い部分があったので、その辺りを修正できればもっと強くなると思います。

将来性はこれだけ体もあるし、先々活躍してくれると思います。まだまだ強くなる馬だと思しますので、人馬ともに応援よろしく願いします。」

◆第44回北見記念（3歳以上オープン）

10月29日（日）は、重賞・北見記念（3歳以上オープン）が行われ、単勝2番人気のアオノブラックが優勝。ライバル・メモロボブサップとの接戦を制しました。

馬場水分2.2%、ばんえい重量850kg～890kgの高重量の中で行われた本レース。今季ここまで古馬重賞は5レース実施され、そのうち北斗賞、旭川記念、ばんえいグランプリを制しているのが1番人気のメモロボブサップ。岩見沢記念で今季重賞初制覇を果たしたアオノブラックが2番人気。今季ばんえい十勝オッズパーク杯を制しているインビクタ、鈴木恵介騎手とは約6年ぶりのコンビとなるメジロゴーリキが人気で続きました。

第1障害を先頭で越えたのはゴールドハンターですが、すぐにミノルシャープが交わして先頭へ。メジロゴーリキ、コマサンブラックらが追走。レース前日の降雨で軽馬場でしたが、高重量

戦ともあって各馬慎重な足取り。中間点を過ぎたあたりからメモロボブサップが位置取りを上げると、わずかに先頭で第2障害下に到達。前半は81秒というペースで流れました。

メモロボブサップが仕掛けたのを皮切りに後続も一斉に登板を開始。アオノブラック、メモロボブサップ、インビクタの3頭がほとんど同時に障害を越え、ゴールドハンター、コマサンエースが続きました。

障害を降りた勢いでアオノブラックがわずかに先頭に立つと、ゴールドハンターもインビクタを交わして3番手に上がります。トップハンデのメモロボブサップが懸命に食い下がり、ゴール前ではじわじわと差を詰めますが、アオノブラックが最後まで先頭を譲ることなく押し切って勝利。メモロボブサップがクビほどの差で2着。ゴールドハンターが3着に入りました。

アオノブラックは9月の岩見沢記念から重賞連勝で、北見記念は3連覇を達成。一方、2着メモロボブサップもアオノブラックより20キロ重い重量だったことを考えれば負けて強しの内容。帯広記念、そしてばんえい記念へと続く古馬主要重賞では、引き続きこの2頭が主役となりそうです。

金田勇調教師「ほっとしました。3連覇は簡単なことじゃないです。今回も結果が出るまで全然安心できなかったです。馬の体調は前回の重賞より今回の方が良いと感じました。昨日までの雨で馬場のコンディションが不安でしたが、結果オーライでした。

勢いが良すぎると障害でバランスを崩すことがあり、少し力まないで行けばいいなと思っていたので、今回はしっかり息を入れ、うまく行くことができてよかったです。

メモロボブサップとはハンデがなければ結果は逆でした。このレースにお客様も期待していたと思うので、しっかり良い関係での勝負が出来たと思います。帯広記念の連覇を考え、しっかり休養を挟んでコンディションを作っていきたいです。

これからも大きなレースに向け、良い状態で出したいと思いますので応援よろしくをお願いします。」

金田利貴騎手「勝つことができてほっとしています。メモロボブサップより有利な条件をもらっていたので、少し気持ちは楽でしたが、レースが終わってみるととてつもなく強かったので、また頑張らなければいけないと思いました。メモロボブサップと隣同士だったのもアオノブラックにとって良かったし、自分にとっても大きな経験になったと思います。

ゴール前はメモロボブサップより何とか一歩前に出したいと思い、アオノブラックも最後辛そうでしたが頑張ってくれました。

アオノブラックを応援してくれてありがとうございます。ライバルとの差を縮めながら、良いレースをファンの皆様に見せたいと思います。これからも応援よろしくをお願いします。」

◆第48回ばんえい菊花賞（3歳オープン）

11月5日（日）重賞・ばんえい菊花賞（3歳オープン）が行われ、マルホンリョウユウが断然人気に応え、3歳二冠目も制しました。

馬場水分1.5%、3歳三冠路線2戦目となる本レースは680～720kgの重量で行われました。3歳一冠目・ばんえい大賞典を制したマルホンリョウユウは、前哨戦・秋桜賞もトップハンデで勝利。今回は最大40キロ差のトップハンデとなりましたが、単勝1.7倍と断然人気となりました。キョウエイプラス、マルホンリョウユウ、スーパーチヨコの3頭がほとんど同時に第1障害を先頭で越え、ジェイヒーローがすぐに位置取りを上げてきます。キタノミネ、タカラキングダム、ホクセタイヨウも先行争いに加わり、前は入れ替わりながら進んでいきます。中間点を過ぎたあたりではキョウエイプラスとベニサクラを除く8頭がほとんど横一線という展開。第2障害下に最初に到達したのはキタノミネとジェイヒーローで、マルホンリョウユウもすぐに到達。ここまで66秒というペースで流れました。

ひと息入れたキタノミネが最初に仕掛けますが、天板で膝をついてしまいます。続いたジェイヒーローとマルホンリョウユウがほとんど同時に先頭でクリア。スーパーチヨコ、立て直したキタノミネが続き、やや離れた5番手からホクセタイヨウが追いかける展開となりました。

障害を降りた勢いでマルホンリョウユウが先頭に立つと、スーパーチヨコが差を詰めますが、マルホンリョウユウの脚色は鈍ることなく、残り20メートルから再び後続を引き離して先頭でゴール。スーパーチヨコは残り10メートルで座り込んでしまいます。ジェイヒーローとホクセタイヨウの2着争いは、ゴール線上で詰まったジェイヒーローを交わしてホクセタイヨウが先着。ジェイヒーローもすぐ立て直して3着に入りました。

この世代は2歳シーズン三冠を異なる馬が制し、中心馬不在の混戦でしたが、ばんえい大賞典で重賞初制覇を果たしたマルホンリョウユウが3歳二冠制覇。12月29日のばんえいダービーには、史上6頭目の3歳三冠の期待がかかります。

金田 勇調教師「三冠の中でここが一番厳しいと思っていたので勝ててよかったです。他の馬がどれくらい重量に対応するのかという心配がありましたが、マルホンリョウユウの出せるタイムは思った通りでした。少しゲートで立ち上がる仕草がありましたが、その後のレースでは普段のやんちゃな姿を見せずに落ち着いていたので良かったです。三冠目はもちろん挑戦していきたいと思っています。三冠に向けて大事に調整していきますので応援よろしくお願いします。」

鈴木恵介騎手「トップハンデでしたので、馬場状態は気にしました。今日は軽すぎず、マルホンリョウユウにちょうど良い馬場でした。実際、道中の反応も良く、折り合いを付けながら進めることができました。成長してきて馬が落ち着いてきましたね。乗りやすくなりました。最後は12月「ばんえいダービー」です。ノーハンデです。レースに絶対はありませんが、獲りに行きた

いです。これからもマルホンリョウユウとばんえい十勝を応援よろしくをお願いします。」

◆第48回クインカップ（4歳牝馬オープン）

11月12日（日）は、重賞・クインカップ（4歳牝馬オープン）が行われ、単勝7番人気のアローリキヒメが、1番人気シンエイアロイをゴール前で交わし重賞初制覇となりました。

馬場水分 2.2%、前日からゴール前の砂障害が撤去され、ロードヒーティングが稼働した状態の中、4歳女王を決める戦いに10頭がそろった本レース。単勝1番人気は銀河賞5着、前哨戦の紅バラ賞でトップハンデながら僅差3着のシンエイアロイ、ばんえいオークス、カーネーションカップを制したダイヤカツヒメ、紅バラ賞を逃げ切ったサツキヤツテマレ、さらにスイ、スーパーシンデレラまで5頭が単勝4～5倍台で拮抗。難解な一戦になりました。

第1障害をダイヤカツヒメとスーパーシンデレラが最初に越えますが、ダイヤカツヒメがひと息入れたところで、スーパードリームが先頭に替わり、アローリキヒメも位置取りを上げてきます。前日からロードヒーティング稼働され、比較的軽い馬場ながら各馬慎重な歩みで、後続もそれほど差のない展開。中間点を過ぎてもスーパードリームが先行しましたが、第2障害手前でひと息。アローリキヒメがわずかに先頭で第2障害下に到達し、前半は68秒で進みました。

第2障害では、サツキヤツテマレが行きたがるように直行するも途中でひと息。続々と仕掛けたなかからシンエイアロイが最初に障害をクリアし、スーパードリーム、アローリキヒメ、ダイヤカツヒメ、スーパーシンデレラと差なく続き、後続は離れました。

残り30メートルあたりからスーパーシンデレラの行き脚が鈍ると、前4頭がほぼ横一線の接戦となります。半馬身ほどリードしていたシンエイアロイでしたが、徐々に差を詰めてきたアローリキヒメが最後にもうひと伸びして先頭でゴール。シンエイアロイはわずかに2着。3着争いも接戦で、一旦は2番手まで上がっていたダイヤカツヒメをゴール前で交わしたスーパードリームが3着に入りました。

勝ったアローリキヒメは、ばんえいオークス（6着）以来2度目の重賞挑戦で、単勝7番人気という評価でしたが、接戦を制して初タイトル。手綱を取った中山直樹騎手はこの勝利が通算300勝目となりました。

小林長吉調教師「思っていたよりも馬が成長してくれました。中山騎手が一生懸命調教してくれた結果だと思います。この馬はスタートが良い馬です。障害は頂上が少し弱いところもありますが、騎手がペースをうまく調整して騎乗してくれていたのも、良い結果につながりました。

障害を下りてからは止まることなく進み続けてくれたので、どこかで差せる、掴めるという気持ちで見えていました。障害をうまく上ってくれた結果です。下りてからは他の馬に引けを取らない良い馬です。

これから上のレースを狙っていけるような馬にしていきたいです。ファンの皆様、これからもアローリキヒメと共に、中山騎手の応援もよろしくお願いします。」

中山直樹騎手「不覚にも大きなケガをしたため、数ヶ月レースを休むことになってしまいました。騎乗していた馬から長く離れていた中で、この大きなレースの騎乗で自分を選んでくれたことに応えられて、ほっとしています。

強い馬も多く、楽には勝てないレースでしたが、必ずチャンスはあると思い、挑戦者のような気持ちで挑みました。第2障害までは先手をとることが出来なかったので、馬のペースを乱さないことを心掛けました。この馬は、今まで重量が重くなると脆い部分が出たこともありましたが、成長と共に体重も着実に増え、重い重量にも対応できるようになり、とても成長力のある馬だと感じています。これからも頑張りますので、アローリキヒメ共々応援よろしくお願いします。」

◆第14回ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）

11月26日（日）は、重賞・ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）が行われ、単勝2番人気のサクラヒメが優勝。障害先頭から後続を引き離す圧勝で、重賞5勝目を挙げました。

馬場水分1.9%、ばんえい重量が740~780kgのハンデ差で行われた本レースは、4~7歳、そして8歳以上の各世代から通算取得賞金順上位馬2頭ずつ選抜される世代対抗戦。最強7歳馬2頭、メモロボブサップ、アオノブラックがともに不在となつての混戦となりました。

キングフェスタがわずかに先頭で第1障害を越えますが、ひと息入れるとメジロゴーリキが先頭に替わり、サクラヒメ、インビクタ、オーシャンウイナーと続きます。前は軽快に歩を進め、全馬中間点を過ぎたころにはばらけた展開になります。メジロゴーリキは後続に並びかけられる場面がありながらも、わずかに先頭で第2障害下に到達。前半は60秒というペースで流れました。

第2障害ではメジロゴーリキとインビクタがほとんど同時に最初に仕掛けましたが、続いたサクラヒメが勢いよく先頭で越えます。メジロゴーリキが2番手でクリアし、オーシャンウイナー、コマサンブラック、ヤマカツエースの順で続きます。

サクラヒメは降りてから後続をみるみると引き離すと、渡来心路騎手は手綱を持ったままの余裕を見せて先頭でゴール。2番手争いは残り30メートルで4頭が横並びでしたが、メジロゴーリキが徐々に抜け出して2着。一旦3番手のコマサンブラックがゴール手前で一杯になり、ヤマカツエースが3着に入りました。

勝ったサクラヒメは1月の天馬賞以来となる重賞5勝目で、牝馬では16年キサラキク以来となる史上2頭目のドリームエイジカップ制覇となりました。今回はトップハンデと40キロ差があつての勝利でしたが、圧勝と言えるレースぶりから今後も牡馬相手の重賞でも好勝負が期待できそうです。

今井茂雅調教師「今年は夏バテや足元の不安が酷く、レースに出られるかどうかという状況でしたが、関係者の皆様のおかげで無事に出走することが出来ました。

相手は強かったですけど勝つことができてよかったです。今季では一番の調子だと思います。馬場状態もこの馬に適しているなと思ったので、ハンデを活かして位置取りをうまく取ることができればなという気持ちでレースを見ていました。

今後も無理をしない程度に休養を挟みながらどのレースに出走させるか、この馬の良さを活かせるレースを相談しながら決めていきたいと思っています。この冬の寒さは私自身も感じていますが、ばんえい競馬はまだまだ熱いところがありますので応援よろしくをお願いします。」

渡来心路騎手「勝ちたいと思っていたレースなので、勝つことが出来てほっとしています。ハンデをもらっていたので、前の方でレースが出来ればと考えていましたが、思っていたとおりの展開になり上手く障害も上がってくれてゴールまでしっかり歩いてくれました。本当に良い馬です。これから寒くなりますが、少しでも多く勝てるようまだまだ頑張りますので応援よろしくをお願いします。」

◆第48回ばんえいオークス（3歳牝馬オープン）

12月3日（日）重賞・ばんえいオークス（3歳牝馬オープン）が行われ、単勝2番人気のルイズが逃げ切って勝利。2度目の重賞挑戦での初タイトルで、見事3歳女王の座に就きました。

馬場水分 1.7%、ばんえい重量 670 kgの定量で行われた3歳女王決定戦。黒ユリ賞では4着に敗れましたが、今季は出走馬最多の5勝と充実。今季に入ってから馬体重も 1000 キロの大台を超え、単勝2番人気となりました。

第1障害を越えて先行したルイズが3、4馬身ほど抜け出し、2番手以下はアバシリモミジ、リバティクイーン、ミュウらがほぼ横一線という形でレースが進みます。ルイズは道中行きたがる様子を見せ、手綱を取る鈴木恵介騎手が我慢させて刻むシーンもありましたが、前半70秒というペースで第2障害を直行、ひと腰でクリアします。ベニサクラ、スーパーチヨコが離れた2、3番手で障害を通過し、さらに離れてタカラヴェルベヌ、ミュウと続きます。

懸命に逃げ込みを図るルイズに、ベニサクラ、スーパーチヨコの8枠2頭が競い合いながら追い上げてきます。ゴール前では3頭の接戦となりましたが、ルイズがスーパーチヨコをわずかに振り切って重賞初制覇。3着にはベニサクラが入り、上位人気3頭の決着となりました。

勝ったルイズは、黒ユリ賞以来2度目の重賞挑戦で世代女王の座に。今季は15勝して3着以内13回と安定感抜群。管理する槻館重人調教師は21年8月のばんえい大賞典をイオンで制して以来、久々の重賞勝利となりました。ばんえいダービーを含め牡馬相手の重賞でも好勝負をマル

ホンリョウユウで制しており、今季の3歳重賞をここまで3戦全勝としています。

槻館重人調教師「勝ててホッとしました。ルイズは厩舎にいるときや調教時は普通で利口な馬なのですが、レースになると気持ちが入ってしまい、前に前にと進みたがります。いつも道中の折り合いがつかなくなってしまうので今回もその点を心配して見ていました。コンディションは絶好調というぐらい調子が良くて、良い状態で走れたと思います。重量が前回のレースよりありましたが、よく止まらずに頑張っただけで障害を越えてくれたなと思います。ゴール間近はドキドキハラハラでゴールするまで心配でした。重賞を獲れたのが数年ぶりだと思うのでうれしいです。本日はありがとうございました、これからも応援よろしく願いいたします。」

鈴木恵介騎手「いつもは道中でなかなか折り合いをつけるのが難しい馬ですが、折り合いがつけばなんとかなると思っていました。脚をためている状態を長く保てたので良かったです。障害を上がりたがる馬なので、それを想定して障害の手前で多く息を入れて、馬の行く気に任せようと思っていました。」

ゴール前で外の馬が追い込んできたのが見えたときには、厳しいと思いましたが最後までよく粘ってくれました。レース後も勝敗がわからない感じだったので勝つことができてほっとしました。これからもルイズ共々頑張りますので応援よろしく願いします。ありがとうございました。」

※レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局などから抜粋しています。

次回の馬主だよりの発行予定は、1月26日です。

